

第六十五回土木学会年次学術講演会 優秀講演者賞を受賞！

M1 山中辰則

2010年9月1～3日に北海道大学で行われた第65回土木学会全国大会において、社会環境デザイン工学専攻コンクリート研究室修士課程1年生の山中辰則君が、優秀講演者表彰を受賞した。本賞は、将来の土木界を担っていく若手の研究者および技術者の論文内容や講演技術の向上などを目的としたもので、論文内容に加え、講演が簡潔明瞭で優れた40歳以下の講演者の中から選考される。今大会では、3627件の講演が行われ、248名が受賞されたが、そのうちV部門では719件の講演で49名が受賞された。

山中君の受賞対象となった研究論文のタイトルは、「格子状連続繊維補強材を用いたRCはりの下面増厚補強効果」であり、同専攻の辻教授、李春鶴助教との連名によるものである。本研究は、補修・補強が必要な道路橋床版に対して、格子状連続繊維補強材を用いた下面増厚補強工法の補強効果について検討したもので、下面増厚補強を施すことで耐力の向上を確認したうえで、格子状連続繊維補強材の継手の有無、下面増厚に用いる吹付けポリマーセメントモルタルの力学的特性および格子状連続繊維補強材の補強区間の長さの違いが下面増厚補強に及ぼす影響を主として検討した。

この研究は、重要な社会基盤施設の寿命延長における簡易的な補強方法という重要課題に取り組むとともに、分りやすい研究発表や的確な質疑応答が高く評価されたものである。

